



2024年11月6日

各位

会社名 東武鉄道株式会社  
代表者名 取締役社長 都筑 豊  
(コード番号 9001 東証プライム)  
問合せ先 財務部課長 会田 賢太郎  
(TEL. 03 - 5962 - 2183)

業績予想の修正並びに  
剰余金の配当（中間配当）及び 期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2024年4月30日に公表した2025年3月期通期業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）について最近の業績動向等を精査した結果、予想が変動する見通しとなったため、業績予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、2024年9月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正について決議いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1 業績予想の修正

(1) 2025年3月期通期連結業績予想数値の修正（2024年4月1日～2025年3月31日）

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 639,000	百万円 62,000	百万円 58,000	百万円 43,000	円 銭 208.01
今回修正予想（B）	639,000	68,000	65,000	48,500	235.78
増減額（B - A）	0	6,000	7,000	5,500	—
増減率（%）	0.0	9.7	12.1	12.8	—
（参考）前期実績 （2024年3月期）	635,964	73,883	72,033	48,164	232.99

(2) 修正の理由

2025年3月期通期業績予想につきましては、第2四半期までの業績動向等を踏まえ、鉄道業における行楽利用の増加及びホテル業におけるインバウンド利用増加による稼働率・客室単価上昇に加えて、百貨店業におけるインバウンド需要及び近隣競合環境の変化の取り込み等を織り込み見直しを行った結果、前回予想（2024年4月30日公表）から営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益を上方修正いたしました。

業績予想の詳細につきましては、本日別途公表の「2025年3月期第2四半期（中間期）決算短信」及び「2025年3月期 第2四半期（中間期）決算補足説明資料」をご覧ください。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により上記予想値と異なる可能性があります。

## 2 剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正

### （1）中間配当の内容

	決 定 額	直近の配当予想 (2024年4月30日公表)	前期実績 (2024年3月期)
基 準 日	2024年9月30日	同左	2023年9月30日
1株当たり配当金	27円50銭	25円00銭	25円00銭 (普通配当20円00銭) (記念配当5円00銭)
配 当 金 総 額	5,508百万円	—	5,170百万円
効 力 発 生 日	2024年12月3日	—	2023年12月4日
配 当 原 資	利益剰余金	—	利益剰余金

### （2）期末配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想 (2024年4月30日公表)	25円00銭	25円00銭	50円00銭
今回修正予想	—	27円50銭	55円00銭
当 期 実 績	27円50銭	—	—
前 期 実 績 (2024年3月期)	25円00銭 (普通配当20円00銭) (記念配当5円00銭)	30円00銭	55円00銭

### （3）理由

当社は、長期にわたる経営基盤の拡充のため、財務健全性に配慮しつつ、業績と経営環境を総合的に勘案しながら、安定的な配当を実施することを基本方針としております。

今般、当期より新たに定めた長期経営ビジョン「挑戦と協創で進化させる社会と沿線」の実現に向けて、中長期的な収益・利益拡大に資する事業の育成を推進するとともに、環境の変化を捉えた各事業の積極的な取り組みにより、利益が当初の想定を上回る見込みであることを踏まえ、中間配当及び期末配当予想をそれぞれ1株当たり2円50銭増額して27円50銭といたします。

（これにより年間配当金は、1株につき合計55円となります。）

以 上